

第1号議案

令和4年度 事業報告について (令和4年4月1日～令和5年3月31日)

I 概要

令和4年度の経済状況は、オミクロン株によるコロナ感染拡大、ロシアのウクライナ進攻、ガソリン等の高騰によるインフレ基調等により悪化し、年度末近くには緩やかな回復基調に転じたとはいえ、総じて、地方には厳しい年であったと言えます。

当シルバー人材センターは、令和3年夏の事務所移転後の本格的再稼働となる年度でありました。発注者、事務所そして会員との各々の連絡等について様々な課題が表面化する一方、令和5年10月から始まるインボイス制度の対応等が急がれる年ともなりました。

そのような中、請負又は委任事業では対前年度で契約金額は、約1,593万円の増額となり、令和元年度以来となる2億円を超えることができました。その主要な要素としては、県等からの草刈作業の注文増や屋外作業及びその他管理等の増加によるものであります。

派遣事業では、対前年度で見ますと約366万円の増額となり、3億5千万円を超える契約金額となりました。また、請負・委託に派遣事業を加えた就業率は87.9%と高い水準を維持することができました。

一方、就業に伴う傷害事故が近年になく多く発生し、職種毎の安全対策会議を「事故0」を目指して開催してまいりました。引き続き来年度も安全対策を最重要課題とし、安全委員会、職種班 更には会員理事とも協力して安全就業に取り組んでまいります。

事業運営におきましては、総収益約2億4,353万円に対して総経費約2億4,608万円となり、差引経常増減額は、△2,544,165円と3年度連続の赤字となり、一般正味財産期首残高1,139,002円を差引いての正味財産期末残高は、平成2年センター創立以来の△1,405,163円の赤字となりました。

収益は前年度よりも約1,609万円増額であり、費用も前年度より約1,452万円の増額であり、前年度より赤字幅は、約411万円から約157万円改善しておりますが、今日の赤字の原因は事務所移転に伴う経費増のみとは言えず、収入や支出等の財政管理手法を再構築し、地道に実施していく必要があると考えております。

そのため、インボイス対策を念頭に置いた事務費の値上げをお客様にお願いするとの考えを12月に、理事会、事務所のあり方を含めた管理や権限を見直すための規程等の改正や人件費の見直し等を年度末に決定し、新年度から取り組むようにしています。

全国的にシルバー人材センターが創立された昭和から平成にかけての時代とは社会は大きく様変わりし、60歳までの定年退職がほとんどであった時代から65歳、さらには、定年や組織内雇用が70歳へと移ろうとしており、「定年後の高齢者の雇用による生きがいづくり」としてのシルバー人材センターは、難しく、又、新たな発想が必要な時代になってきています。

本センターは、現下の厳しい財政状況の改善を図りながらも、より広く、強く地域との連携を模索しながら、会員の皆様と多様な働き方を進め自分と地域で誇れるように努力をしております。

シルバー人材センター事業

受託事業（請負・委任）の年度別実績

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度
受託件数		5,021件	5,067件	4,932件
契約金額		193,622,290円	197,791,916円	213,731,375円
内訳	公共	51,127,715円	52,959,823円	69,300,933円
	民間	142,494,575円	144,832,093円	144,430,442円
配分金額		154,813,472円	156,543,802円	168,420,502円
会員数		472人	468人	448人
就業延人数		45,106人	45,521人	45,439人
就業率		81.6%	77.4%	78.1%

令和4年度の受託件数は前年度より135件減少、契約金額は昨年より15,939,459円（8.0%）の増額となり公共部門16,341,110円（30.8%）増額、民間部門401,671円（2.7%）減額となっております。

また、会員数は20名と大きな減員となり、今後急激な増加は見込めないが、退会の抑制と会員獲得に努め確実な会員拡大に向け取り組んでまいります。

派遣事業の年度別実績

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
契約金額	13,237,836円	30,591,727円	34,135,922円	37,797,309円
就業実人数	29人	47人	55人	55人
就業延人数	2,588人	5,314人	5,867人	6,430人

令和4年度の派遣事業は、就業実人数は昨年度と同数で契約金額は3,661,387円の増額となり、順調な伸びとなりました。

令和5年度も引き続き派遣事業に積極的な取組を行い、県連合と連携・協力をしながら、業種の拡大にも取り組んでいきたい。

II 重点実施事業

1 安全・適正就業対策の強化

安全就業は重点実施事項で最優先されるもので、年間事故ゼロを目指し、安全委員会の開催、現場巡回など実施してきましたが残念なことに、傷害事故 10 件、賠償事故 4 件、熱中症 1 件の事故が発生しました。

昨年と比較いたしまして、傷害事故は 7 件増加、賠償事故は前年と同じく、但し、熱中症事案が 1 件となっております。

傷害事故につきましては、例年になく重篤事故になりうる事故が多数見受けられましたので、各職種別会議を緊急に招集し、安全作業の励行に努めて頂くよう指導を行った。

2 会員の拡大強化

会員獲得に向けたボランティア活動等の実施に報道機関(今日新聞・別府ケーブルテレビジョン)のご協力が得ると共に、地域貢献に努めました。

大分県シニア雇用推進協議会主催のセミナー&合同企業説明会に出席しシルバー人材センターの PR に努めました。

シルバー人材センターのパンフレットを、公共機関(各市役所出張所)やハローワークに置かせていただき、市民に向けてシルバー人材センターの普及啓発に努めました。

また、別府郵便局内でデジタルサイネージの入会促進向けの広告を放映、別府市の公用共通封筒や防災マップなどに会員獲得広告の掲載を実施いたしました。

しかしながら昨年度から△20 人と大きく減少結果となりました。
新たな手法の検討等を進め会員の拡大に取り組んでいきます。

3 就業機会の拡大

大分県土木事務所による河川敷草刈り作業やマンション清掃業などの新規獲得による受注増加に繋がりました。

就業のスキルアップ研修としては、大分県シルバー人材センター主催の刈払機取扱安全講習会にセンター会員の技術・安全に関する実践を受け、その名中で受講者 5 名はセンターに入会いたしました。

センターショートメール(SNS)による就業情報や年会費納入に関する情報を発信し、未就業会員などへ就業機会への情報をお知らせいたしました。

4 運営(組織)基盤の強化

持続的可能な財政基盤の確立に欠かせない会員の獲得はセンター運営の根幹であります。定年延長などの社会情勢の変革による大変厳しい状況下の中、事業収益は前年と比べ約 1,593 万円の増加となった半面、経常費

用の事業費並びに管理費に関しましては、資源価格の高騰や急激な円安による物価上昇の為、消耗品の価格上昇、移転に伴う電話機・パソコンの増設による賃借料の増加の2点が支出増加の主で、また、経常経費の削減につきましては、什器備品費や委託費の経費削減などを実施してまいりましたが、大きな効果は出来ませんでした。よって、更なる経常経費の見直しをしていかなければなりません。

5 第2次 中長期計画（令和3年度～令和7年度まで）

中長期2年度目 推進計画の数値目標と事業実績

区分	会員数	請負契約金額	受注件数	粗入会	就業率	就業延人数
目標	470人	211,500,000円	3,300件	1.03%	90.0%	50,760人
実績	448人	213,731,375円	3,272件	0.97%	78.1%	45,439人
差異	△22	2,231,375円	△28件	△0.06	△11.9	△5,321
達成率	95	1.01	99	94	86	89

推進計画の目標値は全てクリアすることが出来ませんでした。

原因は新型コロナウイルスによる、受注減並びに契約金額の減収によるものであると分析いたしておりますが、ここ最近の状況を踏まえた就業ニーズの変化に対応すべく会員のスキルアップをはじめ会員の就業における資質の向上の取り組みを行っていききたいと思います。

また、定年延長や人手不足などの社会環境の変化を視野に入れた目標値の変更の見直しを含めた取り組みが必要と考えております。

III 会議等

令和4年度定時総会	6月17日
理事会（5回）	5月20日 5月30日 6月17日 11月29日 3月30日
決算監査	5月18日
安全委員会（5回）	6月17日 12月16日 1月18日 2月20日 3月24日
職種部（1回）	6月17日
入会説明会（12回）	毎月10日開催（但し休日等の場合は前日）

IV 事故状況報告

令和4年度における事故の状況は次のとおりです。

○傷害事故(人身)

発生日	負傷部位	発生状況並びに経過
6月	薬指一部切断	剪定作業中ハサミで切断
7月	腰骨圧迫骨折	投棄作業中誤って転落
8月	右腕	清掃作業中つまずいて右腕裂傷
9月	腰骨圧迫骨折	剪定作業中梯子から落下
12月	左小指骨折	帰宅途中つまずいて転倒
12月	左膝打撲	剪定作業中資材に引っ掛かり転倒
12月	顎	屋内作業中こけて転倒
12月	頭	屋外作業中雪で転倒
12月	右手首	屋外清掃中転倒
2月	背骨骨折	剪定作業中切った枝で背中を強打

○賠償事故(物損)

発生日	破損部位	発生状況	修理代
6月	自動車ガラス破損	草刈り作業中の飛び石	217,250円
8月	電話線切断	草刈作業中に切断	319,000円
12月	自動車ドア	剪定作業中に接触	224,000円
12月	自動車ボディー損傷	草刈作業中の飛び石	838,583円

○年度別事故の発生状況

年 度	傷害事故件数	賠償事故件数	事故総件数
平成30年度	5件	4件	9件
令和元年度	3件	6件	9件
令和2年度	4件	4件	8件
令和3年度	3件	4件	7件
令和4年度	10件	4件	14件

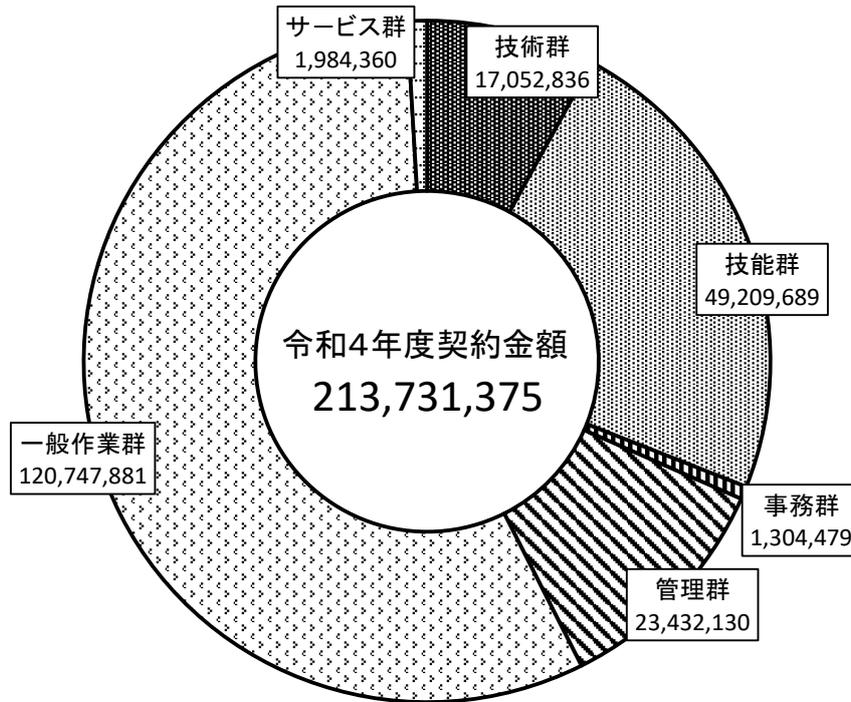
令和4年度 受託事業実績

(単位：円)

月	登録会員数 (月末人)		就業人員	就業延人員	契約件数及び金額				
					受注件数及び金額		公共・民間別契約内訳		
4	484	男性	356	254人	3,010人	310件	公共	41件	3,477,860
		女性	128	52.5%		12,761,288	民間	269件	9,283,428
5	492	男性	363	365人	3,740人	247件	公共	24件	4,913,795
		女性	129	74.2%		17,337,133	民間	223件	12,423,338
6	490	男性	364	278人	4,414人	350件	公共	20件	5,282,292
		女性	126	56.7%		20,139,109	民間	330件	14,856,817
7	489	男性	364	277人	4,144人	328件	公共	21件	5,394,538
		女性	125	56.6%		19,315,641	民間	307件	13,921,103
8	428	男性	317	274人	4,206人	317件	公共	38件	7,411,953
		女性	111	64.0%		20,833,008	民間	279件	13,421,055
9	433	男性	319	275人	4,023人	300件	公共	30件	5,832,700
		女性	114	63.5%		18,625,616	民間	270件	12,792,916
10	437	男性	322	278人	4,799人	362件	公共	32件	7,160,936
		女性	115	63.6%		22,511,831	民間	330件	15,350,895
11	445	男性	328	272人	4,305人	369件	公共	29件	6,300,378
		女性	117	62.7%		20,904,004	民間	340件	14,603,626
12	444	男性	327	265人	3,907人	307件	公共	16件	5,004,389
		女性	117	59.7%		17,980,618	民間	291件	12,976,229
1	447	男性	330	240人	2,979人	149件	公共	10件	4,485,395
		女性	117	53.7%		13,532,438	民間	139件	9,047,043
2	448	男性	331	244人	2,698人	89件	公共	14件	5,044,943
		女性	117	54.5%		12,323,995	民間	75件	7,279,052
3	448	男性	331	245人	3,214人	144件	公共	29件	8,991,754
		女性	117	54.7%		17,466,694	民間	115件	8,474,940
計	就労人員		350人	45,439人	3,272件	公共	304件	69,300,933	
	就業率		78.1%		213,731,375	民間	2,968件	144,430,442	

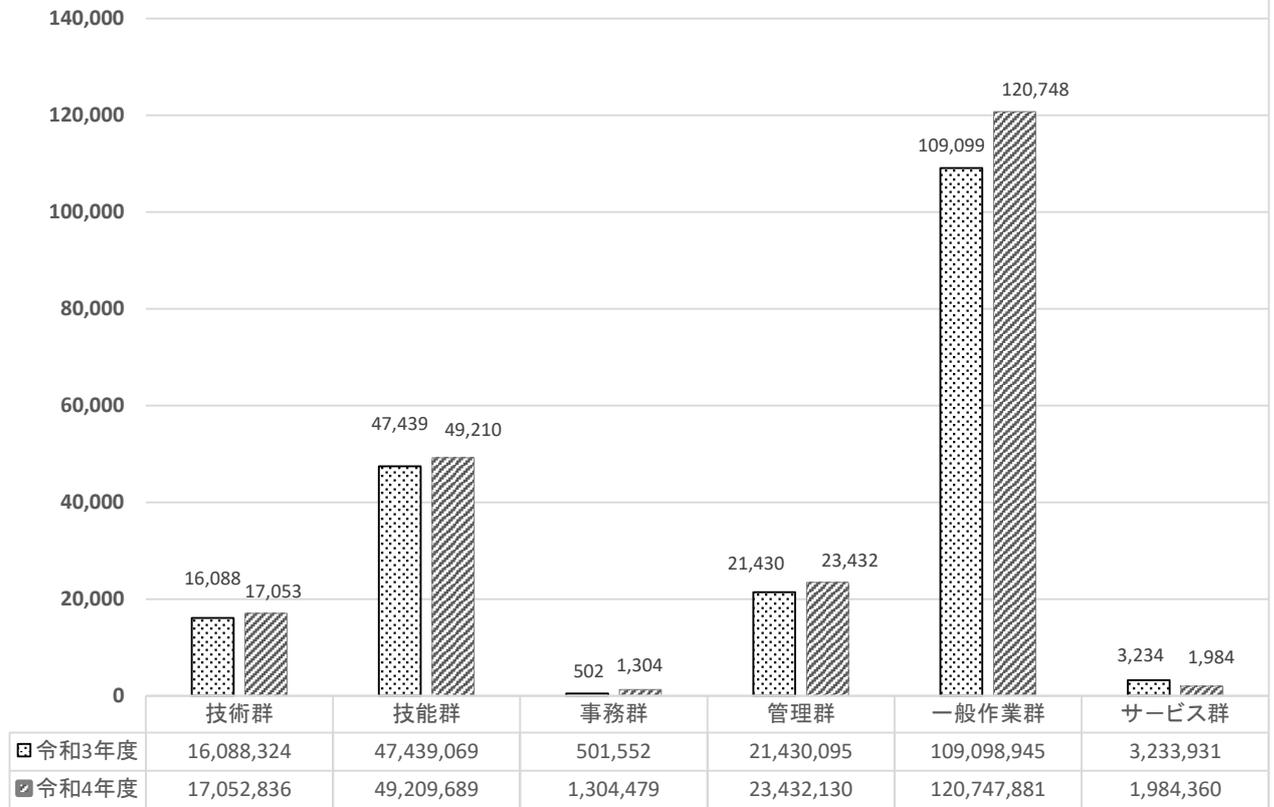
令和4年度 職群別契約金額概況

(単位：円)



令和2年度・令和3年度 職群別比較表

単位:千円



技術群	技能群	事務群
主な仕事 ・資格を必要とする作業	主な仕事 ・大工、塗装、剪定、表具等作業 左官、縫製等作業	主な仕事 ・整理事務、筆耕・宛名書き等作業
管理群	一般作業群	サービス群
主な仕事 ・建物、駐車場管理、商品管理 その他の管理等作業	主な仕事 ・屋内外清掃・雑務、草取、草刈 荷物の運搬、調理・食品関係作業	主な仕事 ・福祉、家事援助、軽度支援等作業 その他のサービス作業